

日々奮闘!!

青少年指導員

特派員
レポート

開成町青少年指導員は、各地区から選ばれた14人で青少年の健全育成・非行防止・社会環境の健全化などを進める活動を地域の自治組織や青少年関係団体と連携しながら行っています。毎月の全体定例会を始めとして企画委員会と広報委員会に分かれての委員会を頻繁に行うほか、毎月各種イベントを開催したり、地域の防犯パトロールを行ったりするなど幅広い活動を続けています。

日夜奮闘している青少年指導員の活動内容をご紹介します。

あじさい祭での かざぐるま作り

開成町最大のイベント「あじさい祭」は毎年6月に開催され、多くの観光客が訪れます。青少年指導員連絡協議会ではこのイベントの一角に「手作りかざぐるま製作広場」を設け、大勢の子どもたちに豊かな想像力をはぐくむ場を提供しています。かざぐるま作りを使用する竹は、5月から青少年指導員



かざぐるま作り

ジュニアリーダー サマーキャンプ

野外炊事やキャンプファイヤーを行う事で自然環境への関心や理解を深め、生きる力やコミュニケーション能力を

の有志が竹取りを行い準備した竹を使用するそうです。このコーナーは子どもたちと共にあじさい祭を見学した中高年にも大人気で、事前に準備した700本の材料もあっという間に終わってしまいう程の大盛況でした。もの作りに親しむ環境が少なくなっている現代では、自分で作る喜びが人気の秘密なのではとのこと。

高める学習をする目的で小学校5・6年生の児童と中学校1年〜3年生までの生徒を対象に、毎年夏休み期間中に開催しているビッグイベントです。

昨年は御殿場の国立中央青少年交流の家を中心に、2泊3日の行程で52人もの児童・生徒が参加しました。

キャンプに参加した子どもからは「参加する前はすごい緊張や心配があったが、いろいろな事を体験・経験するうちにこのような気持ちがだんだんと薄れていきました。一人でできない事も何人かが集まってやれば何でもできる事を学び、また、何をやるにしても積極的に行えば何も努力しないよりは良い結果がついてくる事も学びました。」という感想が寄せられました。



野外で炊事をする子どもたち

中学生地域交流 ゲートボール大会

中学生にゲートボールを通して地域の異世代住民との交流の場を提供する事により今後の地域活動への参加を促す事を趣旨としてスタートした大会です。中学生チームをはじめとして老人クラブ連合会、開成町議会、文命中学校PTA、文命中学校教職員、青少年健全育成会連絡協議会、青少年指導員OB会など各層からの参加があります。夏の暑い中、それぞれのチームがチームワークを大切に元気に仲良く交流が深まったおかげで、地域の自治会のイベントにも中学生が積極的に参加するようになったそうです。



ゲートボール大会

夏季夜間パトロール

夏休み期間中と吉田神社お

よび酒田神社の祭礼の日に文命中学校の先生方やPTA、親父の会の皆さんと協力し、開成駅周辺や水辺公園・あじさい公園・コンビ二周辺などを中心に夜間パトロールを行い、青少年の非行防止活動を行っています。厳しくかつ暖かい気持ちで子どもたちに声掛けをしているそうです。こういった活動は、親・学校など地域の人々が一体となり、多くの人に参加協力をお願いし、取り組む必要があるのではと思います。

地域全体で 子どもたちを守る

現在、子どもたちを取り巻くトラブルや犯罪が増え、いじめの問題も大きな社会問題となっています。

難しい問題ではありますが、少しでも子どもたちをこういったことから守るために、我々大人が真剣に子どもたちと向き合う必要があるのではないのでしょうか。最後に、今回の取材を通して、子どもたちを「守り・支え・育てる」活動は青少年指導員に限らず地域全体で考え、行動すべき問題ではないかと改めて感じました。

情報特派員
村上 啓夫

子育てワンポイント

83

Q 最近、質問が多くて困っています(3歳児)

A 子どもが興味、関心のあるものに「なぜ?」「どうして?」と聞いてくる時期です。次から次への質問攻めに答えるには、エネルギーを要しますね。

親としてきちんとしたものを答えようとして、その答えがなかなかまとまらないと、逆にストレスを感じてしまうことでしょうか。難しいことを言っても、子どもに伝わりにくいので、わかりやすい内容で短く答えてみましょう。

また、質問に対して「どう思う?」「なぜかな?」と一緒に考えあうのも良いですね。そのようなことが親子のコミュニケーションのきっかけになっていきます。

子どもが質問をしてくる姿を成長と感じ、むしろ喜びや楽しみという気持ちでとらえ

て接すると良いでしょう。

親子で楽しく積み木あそび



開成幼稚園

☎82-4247

のびのび子育てルーム

☎83-4198

開

成南小学校の子どもたちには、新しい校舎をとでも気に入っています。2階建てで教室間が行き来しやすく、木がたくさん使われ自然の恵みを感じられます。また、廊下でもあるオープンスペースは広く集会活動にも生かされます。開放的な教室ですが、扉を開閉することにより、場面に応じた使い方ができます。

子

どもたちは、この校舎をずっときれいにしていこうと、毎日丁寧に清掃に取り組んでいます。

2

学期からは、全学年のグループで掃除を担当するようになりました。この「なかよし清掃」では、下級生は上級生にお姉さんやお兄さんのような親しみを感じています。重い机を運ぶ年下の仲間を気遣う上級生の姿もよく見えます。この活動では、協力して働く体験を通して、リーダーとしての自覚や仕事への責任感も養えます。少子化社会である現代、学校が多様な人間関係や体験を学ぶ場になるよう、さまざまな機会を生かしてい

こうと考えています。

時

にはグループ内で気持ちの行き違いが起きますが、そんな時は互いに気持ちを伝え、時間をかけて解決しています。その後、笑顔でふれあう姿を見かけたときは、教職員も大きな喜びを感じます。「なかよし清掃」のグループ担当教職員は、学級担任と

ま

ながら除草作業を行いました。また、園芸委員会の5・6年生は、土を耕し季節ごとに花の苗を植え、毎日活動を続けています。昨年末には、県立吉田島総合高校のご協力をいただき、パンジーの鉢植え作業を体験しました。卒業する6年生にこの鉢を贈ろうと世話をしています。種まきからなかなか芽が出さなかった菜の花は、寒さに負けず花を咲かせ始めました。

開

校2年目の春は、もうすぐです。

生き生き しपोर्ट 今
子どもたちは
「開成南小をきれいにしよう」

開成南小学校 3年担任 濱本由美子

